

入試情報

| 入 試 日 | 願 書 提 出 | 合 格 発 表 | 内 申 点 計 算 方 法 |
|---|---|-------------------------------------|--|
| <p>■前期入試: 2/15(月)</p> <p>■後期入試: 3/8(火)、3/9(水)</p> | <p>前期:2/5(金)、 2/8(月)</p> <p>後期:2/25(木)、 2/26(金)</p> | <p>前期:2/22(月)</p> <p>後期:3/15(火)</p> | <p>中学1年時から3年時の内申点を、 各学校が定める配点割合に応じて算出する。</p> |

教育のプロ
トライさん



傾向

前期では、『調査書』+『面接』+『作文(あるいは各高校が定めた検査)』の結果を総合して能力・適正等を判定し、選抜を行う。

後期では、『調査書』+『学力検査』の結果を総合して選抜する。

学力検査は5教科500点満点。調査書と学力検査の比重は高校によって異なり、内申点と学力検査点のどちらかの比重を高めて判定する学校もある。また高校によっては「A選抜」と「B選抜」の二段階選抜を採用するところもある。

近年の傾向として、記述式や読解問題が多く、正確な知識が求められる問題の出題頻度が高くなっている。また、表現力や判断力を問う問題は、丸暗記では対応できない事が多い。しかし各科目の出題パターンは毎年類似しているため、科目ごとに目標点を決めて科目の傾向に合わせた対策をしよう。

科目別対策

英 語

大問8問構成。「聞く」「話す」「読む」「書く」といった基本的なコミュニケーション能力が重視されており、理解力・表現力も問われる。特にリスニングは、全体の約3割の配点を占めるため、正確な発音や単語、文法の復習をしておこう。また、英文を聞いて自分の考えや意見を書く問題の対策もしておこう。長文問題は、時間を計って解くようにして、速く正確に読む練習を重ねておこう。

数 学

大問5問構成。各学年・各領域において、基礎的・基本的な内容から応用力、論理的思考力・表現力を問うものまで、多岐にわたって出題される。大問1の集合問題は、ほとんどが基礎的な問題。ここで全体の約4割の得点を得ることができるので、ケアレスミスに気をつけて確実に得点しよう。平面、空間図形では、合同・相似の証明問題が多く出題される。相似の条件をしっかりと覚えて、類似問題を演習しておこう。

国 語

これまで大問6で出題されていた作文が大問1に組み込まれ、大問5問構成になった。文章を的確に読み取る力や、読み取った内容に基づいて自分の考えを適切に表現する力などが総合的に問われる。漢字・語句・文法は易しいので、確実に得点したい。記述量が多いので、古文漢文はスピーディーに解き、作文や配点の高い読解に時間を使うように過去問演習しよう。

理 科

大問6問構成。基礎的・基本的な内容及び身近な題材をもとにした観察・実験が重視される。また、科学的な思考力、判断力、データや図表の読解力が求められる。自分の考えをまとめて表現する力も必要なので、記述の演習をしておこう。総合問題では全ての分野からまんべんなく出題される。基礎的な問題が多いので、教科書や資料集で確実に対策しておこう。2分野はただ覚えるだけでなく、根拠や成り立ちも理解しておくこと。

社 会

大問7問構成。基本的な学習内容について問われ、幅広い思考力や判断力、資料を活用する力も求められる。特に近代・現代の出題頻度が高く、時代背景を捉えて考察する力が求められる。時代毎の出来事は整理しておくこと。資料の使い方が得点に大きく影響するので、基礎的な記号や図の読み取りなどはできるようにしておきたい。教科書だけでなく資料集も活用して対策をしておくこと。